大砂土中だより
溌剌と（はつらつと）

さいたま市立大砂土中学校
０４８－６８４－８００４
http://osato-j.saitama-city.ed.jp
No.４　令和５年７月３日号

校外学習で学ぶこと

校長　上続　昌司

６月初旬から始まった学校総合体育大会では、どの種目においても精一杯取り組んでいる姿を観ることができました。特に３年生は、最後の公式戦に挑む覚悟を感じました。勝利の喜び、負けた悔しさ、それぞれにドラマがあり、掛け替えのない貴重な時間を過ごすことができたと思います。

６月は他にも、１、２年生の校外学習、３年生の修学旅行を実施しました。この校外学習では、普段の学校生活では味わうことのできない体験ができます。

１年生は、「緑学年の愛と誇りが詰まったさいたま市の魅力」というスローガンを掲げ、さいたま市内の駅周辺を中心に班別行動を行い、それぞれのミッションをクリアしていく中で仲間との交流を図り、互いの良さを認め合いながら活動していくことができました。実行委員長さんの言葉に「仲間との信頼関係を築いてほしい」という願いがあり、１年生の皆さんに伝わったことと思います。

２年生は、「青が創る鎌倉～未来への架け橋～」というスローガンを掲げ、鎌倉方面で班別行動を行いました。校外学習を終えた後の感想の中に「公共の場での態度」という言葉がありました。電車内で大きな声でしゃべっている他校の生徒の様子を見て、自分たちの行動に気が付いたそうです。最後には「自分たちのことを周りの目線から見て行動することを習慣づけたい」とありました。校外学習だからこそ気づける場面です。

３年生は、「一期一笑」というスローガンを掲げ、京都、奈良方面で修学旅行を楽しみました。私も同行し身近で感じたことは、自分のことよりも、班員の仲間、クラスや学年の仲間、先生方や旅行会社の方々、旅館の方々等、周りの人達を気遣う言動でした。印象的だったのは、班の仲間が調子を崩し、別行動となってしまった場面で、班長さんが何度も本部に連絡をし、その仲間の状況を確認していた場面です。また、お世話になった方々への感謝の言葉も多く聞きことができました。これは、１年生から校外学習や普段の学校生活、部活動等を通じて学んできた成果だと思います。

どの学年も学校外での活動を通していろんなことを学び、成長してくれていることに大きな喜びを感じます。大切なのは、事後の学習です。学びを止めず、これからの生活に活かしていきましょう。